

診療看護師(nurse practitioner)とは…？

当院では診療看護師と呼ばれる看護師が3名在籍しております。
今回は診療看護師についてご紹介させていただきます。

診療看護師

日本NP教育大学院協議会が認める NP 教育課程を修了し、本協議会が実施する NP 資格認定試験に合格した者で、患者の QOL 向上のために医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師



➡ 2年間大学院で学び、医師の包括的指示のもと一部診療行為が行える看護師です。

※国立病院機構では診療看護師（JNP：Japanese Nurse Practitioner）の名称で呼ばれています。

現在の主な仕事内容

- ・ 心臓血管手術後の術後管理や手術の助手
- ・ 入院患者の状態変化時の対応や急変時対応
- ・ 集中治療室における早期リハビリテーション
- ・ 救急外来での入院患者対応
- ・ 末梢静脈留置カテーテル(PICC)の挿入

…etc



➡ 今までは医師がいなければ行えなかった処置や診療などについて必要性を判断し、患者さんに対してタイムリーに提供することができます。

NP (Nurse Practitioner) の歴史

- 1960年代～アメリカで初めてNP教育が開始。

【背景】医師不足や低所得女性、子供、高齢者、障がい者への医療保険の提供

- 1977年 米国で初のNPが誕生

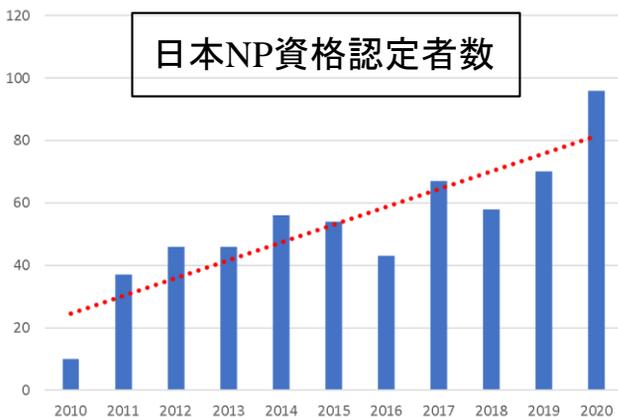
日本では・・・

- 2009年 日本NP協議会設立
- 2011年 第1回NP資格認定試験の実施



日本初のNP誕生

日本NP資格認定者数



診療看護師(nurse practitioner)の
資格認定者は年々増加している。

現在日本に**583名**(2021年4月1日現在)

当院の診療看護師(Nurse Practitioner)の歴史

2018年鹿児島医療センター最初の診療看護師**2名**が誕生

2021年鹿児島医療センター**3人目**の診療看護師が誕生

より早く、より安全な医療・看護の提供を目指します。
何かありましたらいつでもご相談ください。

